

(参考様式)

緊急時対応マニュアル 記入例

児童・生徒名	学年	生年月日
那覇 教育太郎	○年△組	○年△月○日生
保護者氏名	住所	電話番号
那覇 太郎	那覇市泉崎○	○○○-○○○○
医療的ケアの内容	気管カニューレ内喀痰吸引	

緊急時の対応

トラブル(様態変化・器具のトラブル等)	対応(役割分担含む)
気管カニューレの計画外抜去	☆看護師滞在中の場合 ・気管カニューレの再挿入、協力者を呼び情報を共有(看護師) ・養護教諭・担任・管理者に連絡(協力者) ・挿入後、酸素飽和度(SpO2)が95%未満なら保護者へ迎への連絡、必要によっては救急車要請(連絡担当:○○) ・挿入後、酸素飽和度(SpO2)が95%以上であっても、体調不調であれば保護者へ迎への連絡、必要によっては病院受診(連絡担当○○) ・挿入できない場合は、保護者に連絡し、救急車要請(連絡担当○○)
	☆看護師不在の場合 ・協力者を呼ぶ(発見者)、養護教諭・担任・管理者に連絡(協力者) ・医療的ケア児の全身状態観察・把握、学校で可能な処置の実施(養護教諭、担任) ・保護者に連絡、救急車要請(連絡担当○○)
嘔吐	☆看護師滞在中の場合 ・全身状態の観察(看護師が実施) ・口の中の嘔吐物をかきだし、吸引する(看護師)
	☆看護師が不在の場合 ・誤嚥を防ぐため顔を横に向ける(発見者) ・協力者を呼ぶ(発見者) ・口の中の嘔吐物をかきだす(発見者、協力者) ・保護者へ連絡、必要に応じて救急車要請(連絡担当○)

緊急連絡先

連絡先の氏名	児童・生徒との関係	電話番号	連絡先種別
① 那覇 太郎	父	○○○-○○○○	携帯
② 那覇 花子	母	○○○-○○○○	職場(○○商事)
③ ○ ○	祖母	○○○-○○○○	携帯
④ ○ △	叔父	○○○-○○○○	自宅

※連絡先種別の欄には、携帯電話、自宅、勤務先などを記入

※裏面あり

主治医

主治医氏名	病院名	診療科	電話番号

緊急時搬送病院

病院名	住所	電話番号

職員の役割分担、緊急連絡体制等

教育計画に基づき柔軟に対応する。教室に掲示

校長及び教頭、担任不在時の対応

教育計画に基づき柔軟に対応する。教室に掲示

その他

※緊急時対応マニュアルは、「医療的ケア指示書」・「医療的ケア実施マニュアル」等に基づき、看護師・主治医等と調整して学校が作成

※参考

障害の有無に関わらず、児童・生徒は学習することを目的として登校しています。そのため、どの児童・生徒であっても、学習が継続出来ない健康状態に陥った場合は学習を中断し、校長は下校させる判断をします。この判断は医療的ケア児についても同様です。

医療的ケア児については看護師が校内に滞在していることにより医療的ケア児の体調不良時には、学校で看護師が看病してくれれば下校させる必要がないのではという意見もありますが、医療的ケア児が学習が継続できない状態なのであれば、他の児童・生徒と同様に、学習を中断し、校長は救急搬送もしくは保護者迎えの判断をする状況のことが「緊急時」です。

「学校における医療的ケア実施マニュアル 看護師用」より